

第29回

社会言語科学大会

Program of the 29th Biannual Meeting of the Japanese Association of Sociolinguistic Sciences

2012/3/10-11

日時:2012年3月10日(土)/11日(日) 受付開始:9:30
 場所:桜美林大学 町田キャンパス 〒194-0294 東京都町田市常磐町3758

交通 :JR横浜線淵野辺駅北口よりスクールバス、路線バス(約8分)、JR横浜線、小田急線町田駅より路線バス(約25~30分)等を利用して、桜美林学園前下車。
 アクセス・経路の詳細については、<http://www.obirin.ac.jp/access/machida/index.html> 参照。なお、スクールバスについては、日曜日は運行しておりませんので、ご注意ください。

参加費(大会論文集1冊込) :4,000円/会員 5,000円/非会員 4,000円/学生 [事前申込み(割引)の期限等につきましてはホームページをご覧ください]
 問い合わせ先 :社会言語科学会研究大会委員会 E-mail: jass-desk@bunken.co.jp <http://www.wdc-jp.com/jass/29/>

		3月10日(土)			
9:30-		受付 [明々館1階 エントランスロビー]			
10:00-10:30	口頭発表	<セッション1> [明々館3階A307] 司会:森 篤嗣(帝塚山大学)	<セッション2> [明々館3階A308] 司会:岩田 一成(広島市立大学)	<セッション3> [明々館3階A309] 司会:竹口 智之(関西学院大学)	<セッション4> [明々館4階A407] 司会:阿部 新(名古屋外国語大学)
10:35-11:05		・連辞・範列関係からみた 連体修飾構文のネットワーク 神澤 克徳, 木本 幸憲(以上, 京都大学)	・日本語学習者の終助詞 「ね/よ/よね」の習得について 吉田 暢子(東京外国語大学)	・制度的会話における 会話終結の予測可能性 居關 友里子(筑波大学)	・歌掛けにみる中国少数民族の バイリンガリズム 梶丸 岳(日本学術振興会/ 国立民族学博物館)
11:10-11:40		・社説におけるワケワナイ文と ワケガナイ文の研究 大水利之(メロス学園), 席 云子(恵泉女学園大学)	・明示的指導による日本語学習者の 依頼発話における連鎖の変化 並木 一美(メルボルン大学)	・会話の修復はどのように 行われたか 梅村 弥生(東京大学)	・Crossing in teacher-pupil interaction 山下 里香(東京大学)
11:45-12:15		・「お客様の声」の文体・語句と 内容との関連性 大谷 鉄平(全州大学)	・留学生に対する日本人の評価 崔 文姫(首都大学東京)	・擬音語・擬態語と共起する ジェスチャーの同期 城 綾実, 細馬 宏通 (以上, 滋賀県立大学)	・接触場面における「共話」の 成立に及ぼす性差の影響 本田 明子(立命館アジア太平洋大学)
13:15-13:20		開催校ご挨拶 [太平館2階A200 レクチャーホール]			
13:20-14:50		招待講演 [太平館2階A200 レクチャーホール] ・感性言語としての日本語の特質とその世界に対する貢献の可能性について 講演者:鈴木 孝夫(慶應義塾大学名誉教授) 司会:井上 逸兵(慶應義塾大学)			
14:50-15:05		大会発表賞受賞式 [太平館2階A200 レクチャーホール] ・否定疑問文を使用した評価への抵抗: 文法と連鎖位置の接点 杉浦 秀行(茨城大学/オークランド大学) ・授業後の会話における学生同士の情報共有 一情報提供と「伝聞」の関わりー 田中 真衣(大阪大学)			
15:15-17:45		<ワークショップ1> [太平館2階A201] ・会話データ分析のむこう —社会的貢献の可能性を考える— 企画責任者:中井 陽子(東京外国語大学) 話題提供者:大場 美和子(広島女学院大学), 寅丸 真澄(早稲田大学), 加藤 好崇(東海大学) 指定討論者:三牧 陽子(大阪大学)	<ワークショップ2> [太平館2階A202] ・視点研究の深化を目指して:日英対照研究を再考する 企画責任者:多々良 直弘(桜美林大学) 司会: 井上 逸兵(慶應義塾大学) 話題提供者:出原 健一(滋賀大学), 野村 佑子(立教大学), 八木橋 宏勇(杏林大学)		
18:10-		懇親会 [崇貞館1階桜カフェ(大学食堂)]			

		3月11日(日)			
9:30-		受付 [明々館1階 エントランスロビー]			
10:00-11:15	ポスター発表	<ポスター発表セッション1> 司会:小西 いずみ(広島大学) [太平館1階A100学生ラウンジ] ・「視覚障害者」の自己呈示とフッティング 中原 京子(大阪大学)	・模擬評議場面における弁論の影響 荒川 歩(武蔵野美術大学)	・「他者」からの学びによる日本語教師の成長 手島 利恵(東京女子大学)	他 計13件
11:15-12:30		<ポスター発表セッション2> 司会:松丸 真大(滋賀大学) [太平館1階A100学生ラウンジ] ・知的障害者の時事情報への関心及び理解に関する考察 打浪(古賀) 文子(国立障害者リハビリテーションセンター研究所)	・医療分野で使われる複合語の語種構成 小木曾 智信(国立国語研究所), 相良 かおる(西南女学院大学)	・来談・相談意思のないクライアントとのカウンセリングにおける会話の分析 椿田 貴史(名古屋商科大学)	他 計13件
13:30-14:45		徳川賞授与式及び記念講演 [太平館2階A200 レクチャーホール] <優秀賞> ・法廷談話実践と法廷通訳 —語用とメタ語用の織り成すテキスト— 吉田 理加(立教大学) ・パラグアイ日系社会におけるアクセントの継承と変容 —パラグアイの広島県人家族を対象に— 中東 靖恵(岡山大学) <萌芽賞> ・手話会話に対するマルチモーダル分析 —手話三人会話の二つの事例分析から— 坊農 真弓(国立情報学研究所)			
15:00-15:30	口頭発表	<セッション5> [明々館3階A307] 司会:西尾 純二(大阪府立大学)	<セッション6> [明々館3階A308] 司会:松尾 慎(東京女子大学)	<セッション7> [明々館3階A309] 司会:本田 明子(立命館アジア太平洋大学)	<セッション8> [明々館4階A407] 司会:中野 敦(国際文化フォーラム)
15:35-16:05		・日本語とシンハラ語における「ほめに 対する応答」の言語行動の対照研究 ウイランハ, デリニ・ハサンティカ(首都大学東京)	・ケータイメール世代の あいづち使用 高岸 美代子(お茶ノ水女子大学)	・話し合い後の振り返り場面 における話題共有と評価の方略 星野 祐子(十文字学園女子大学短期大学部)	・外国語教育における会話活動を通じた, 中学生のコミュニケーション意識の変容 遠藤 忍(慶應義塾大学)
16:10-16:40		・日中韓の友人会話における 依頼の談話ストラテジー 生天目 知美(四国学院大学), 劉 雅静, 大和 啓子(以上, 筑波大学)	・民族的有標性と 自民族中心主義 新里 卓(武蔵越生高等学校)	・介護の自然記述と介護空間 細馬 宏通(滋賀県立大学)	・自己開示が織りなすstorytelling 岩田 祐子(東海大学)
		・クレーム交渉場面における客側の 説得方略についての日中対照研究 胡 敏男(九州大学)	・シフトするジェンダー言語 イデオロギー 宮崎 あゆみ(国際基督教大学)	・医療面接場面の謝罪表現に対する 医師と患者による評価の比較 辛 昭静, 石崎 雅人(以上, 東京大学), 三浦 純一(福島県須賀川市公立岩瀬病院), 吉岡 泰夫(別府大学)	